

〔科目名〕 経営演習 I	〔単位数〕 4単位	〔科目区分〕 演習科目				
〔担当者〕 紫関正博		〔授業の方法〕 演習				
〔演習テーマ〕 <p style="text-align: center;">企業会計と企業分析の基礎、会計の仕組みを学ぶ</p>						
〔演習内容〕 <p>会計は、ビジネスの言語として、現代の社会における不可欠なツールとなっています。企業が行う会計実務に対する理解が深まると、企業をより詳しく理解し、経営判断を行う力が身に付きます。</p> <p>「経営演習 I」では、企業の経営判断を行う上で前提となる現代の会計を理解するために、テキストの輪読を通じて財務会計に関する知識を学びます。また、現代の会計を学ぶ上で必要となる基本的な会計理論、会計実務、会計規則と基本的な財務諸表分析の手法を学習します。</p> <p>ゼミの時間は、テキストの輪読の他にも、企業の会計に関する話題を取り上げ、簿記と会計に関する演習も時折取り入れながら進める予定です。</p> <p>ゼミの進捗状況などにより、場合によっては、ゼミ生と相談した上で、演習内容を変更することもあります。</p>						
〔科目の到達目標〕 <p>企業が行う基本的な会計実務と会計理論を学び、企業の財務情報を読み解く上で必要となる基礎を身に付けて、説明できることを目標とします。具体的には、以下のことを到達目標とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①基本的な会計実務、会計理論を学び、理解すること。 ②企業会計制度の視点から、会計を社会的・制度的仕組みとして考え、理解すること。 ③上記の学習から理解したことを、発表やレポートで説明できること。 						
〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕						
学部				学科		
DP1 ○	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3 ○
〔前提条件〕 <ul style="list-style-type: none"> ・積極的にゼミに参加することが求められます。 ・日商簿記 3 級程度の知識があることが望ましい。 						
〔学修の課題、評価の方法〕 (テスト、レポート等) ゼミへの参加度と発表、レポート (各学期末に予定) を総合して評価する。						
〔教科書等〕 <教科書> <ul style="list-style-type: none"> ・郡司 健 著『現代会計の基礎と応用』, 中央経済社, 2019 年。 ・松村勝弘・松本敏史・篠田朝也・西山俊一 著『新訂版 財務諸表分析入門—Excel®でわかる企業力—』, 株式会社ビーケーシー, 2015 年。 <p>※テキストは変更する場合がありますので、初回の授業で提示します。</p> <参考書> <ul style="list-style-type: none"> ・鈴木義夫・千葉修身 著『会計研究入門—“会計はお化けだ!”』, 森山書店, 2015 年。 						
〔実務経歴〕 該当なし						

授業スケジュール	
時期	テーマと内容
第1回 ～ 第3回	テーマ:会計とは何か 内 容:会計研究の方法
第4回 ～ 第5回	テーマ:簿記と会計 内 容:簿記と会計の関係性
第6回 ～ 第8回	テーマ:損益計算書 内 容:費用と収益の会計, 損益計算書の構造と原則
第9回 ～ 第12回	テーマ:貸借対照表 内 容:資産と負債・純資産の会計, 貸借対照表の構造と原則
第13回 ～ 第15回	テーマ:基本的な会計理論と会計上の利益 内 容:動態論と静態論, 損益計算原理
第16回 ～ 第18回	テーマ:会計の仕組み 内 容:社会的・制度的仕組みとしての会計
第19回 ～ 第20回	テーマ:会計原則と会計基準 内 容:企業会計原則とIFRS
第21回 ～ 第22回	テーマ:キャッシュ・フロー計算書 内 容:キャッシュ・フロー計算書の構造, キャッシュ・フローの有用性
第23回 ～ 第24回	テーマ:個別財務諸表と連結財務諸表 内 容:財務諸表の作成と種類, 連結財務諸表の作成方法
第25回 ～ 第30回	テーマ:企業分析の基礎 内 容:基本的な財務諸表分析の手法を学ぶ